

1 健やかで生きがいに満ちた“森の国” 【健康・福祉】

誰もが住み慣れた地域で自分らしい暮らしと健康で自立した生活が送れるよう、地域包括ケアシステムの更なる深化を図るほか、本年10月には「ねんりんピック愛顔のえひめ2023マラソン交流大会」が本町で開催予定であり、これを契機として健康づくり、予防活動、高齢者福祉、障がい者福祉の充実による健康寿命の延伸につなげます。

また、地域医療の中核である中央診療所の充実強化及び健全運営に努めるほか、長引く新型コロナウイルス感染症に対しては、5類感染症への移行という節目を迎える中、引き続き町民の不安を払拭するためのサポート体制を堅持します。

- (1) 感染症・災害などの健康危機における町民の不安を払しょくするためのサポート体制の強化（ウィズコロナ）
- (2) 産まれる前から高齢期まで、すべてのライフステージにおいて、町民が安心して暮らせる地域共生社会の実現
- (3) 高齢者が生涯現役で、生きがいをもって社会参画できる仕組みづくり
- (4) 中央診療所の「かかりつけ医」としての機能強化と経営安定化、出張診療のあり方の検討
- (5) 社会福祉協議会との連携による「地域福祉活動計画」の具現化をベースとした「地域福祉計画」の推進



2 賑わいと活気にあふれた“森の国” 【産業・雇用】

農業分野では、農業委員会と連携し、農地の有効利用、遊休農地対策を進化させるべくこれまでの「人・農地プラン」から、より地域の実情を反映させた「地域計画」への移行に向けて取り組むとともに、重点施策に位置付ける上家地部落再生事業の推進や、地域農業の持続のため、農林土木事業の実施、集落営農の組織化、担い手の確保・育成対策など、将来に向けて効果的な支援策の実施に努めます。

林業分野では、南予森林管理推進センターを基軸として、森林環境譲与税の有効活用によって森林整備事業に計画的に取り組むとともに、即戦力となる林業担い手の確保と育成を図り、併せて、まきステーションを中心とした木質バイオマスの継続的な活用を推進します。

商工分野においては、商工会との連携のもと、中小企業の経営支援及び創業支援に取り組み、コロナ禍対応施策の継続により地域経済の復興を進めるとともに、事業承継支援や地域内循環型の経済モデルの導入に向けた調査研究、企業誘致・留置対策、複業人材育成による雇用創出と労働力確保に取り組めます。

さらに、観光事業では地域資源や魅力を再発見・再認識し、地域活性化を目指す観光まちづくりを推進します。

- (1) 農林業はじめ地域経済、文化、コミュニティ活動の担い手確保
- (2) 地域内循環型の経済モデルの導入とコロナ禍からの地域経済の復興
- (3) 「国立公園滑床渓谷」と「道の駅・虹の森公園まつり」を核とした民間との協働による観光交流産業の振興
- (4) 起業支援とマルチワーカー育成による雇用の創出
- (5) 町出資法人等の経営健全化と観光施設及び農林業施設の適正管理



令和5年度

町政の基本方針と重点施策

町政の基本方針

『小さな町の大きな挑戦』

＝桃源郷は松野（ごんご）にある＝

まちづくりの目標

- (1) 50年後、100年後も穏やかな暮らしが続いていること
- (2) 自然や歴史、文化が次の世代に受け継がれていくこと
- (3) 今を生きる住民が、幸せを実感できるようにすること

3 安全で快適な暮らしの“森の国”【環境・防災】

庁舎及び防災拠点施設を中心に、地域防災計画及び業務継続計画（BCP）に基づく防災体制の充実を図るほか、地域住民や消防団等の関係機関と連携し「自助、共助、公助」による地域防災力の向上、防災意識の高揚、防災情報伝達手段の確保や交通安全対策、防犯活動を展開します。

併せて、南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え「自らの命を守る」ための防災・減災の諸施策を推進するため、一人ひとりができる自助、共助の取組を強化、支援します。

建設分野においては、国土強靱化基本計画に基づき道路交通網やインフラの整備及び長寿命化を図り、環境分野では、廃棄物の処理、河川の水質浄化に努めるほか、脱炭素社会の形成に向けた再生可能エネルギーの普及促進を図ります。



水道事業においては、公営企業会計の移行による経営基盤強化を図るとともに、喫緊の課題である水道施設・管路の耐震・老朽化対策を進めます。

- (1) 地震、水害等に備える防災減災対策の強化（情報通信網の再構築）
- (2) 簡易水道設備の耐震老朽化対策と良質な水道水の安定供給、公営企業会計への円滑な移行
- (3) JR予土線など公共交通手段の確保と高齢者等の外出支援策の拡充
- (4) 生活道路や農業用施設、用排水路、街路灯などの維持管理のための仕組みづくり
- (5) 移住者を含む多様な住環境ニーズに対応する住宅や宅地の確保（空き家の活用）

4 子どもたちの夢が広がる“森の国”【教育・子育て】

子どもたちの教育環境の充実を最重要課題と位置づけ、「ふるさと松野を守り育てることのできる子どもを育む、地域と共にある学校教育を創造する」という理念を学校と地域が共有し、心と体と知恵を育む学校教育を目指します。

また、生涯学習及び生涯スポーツの推進、公民館活動の充実、歴史文化の保存活用など、全ての世代が興味を持って参加できる環境を創出することによって、文化意識の向上や心身の健康増進、引いては町の活性化につなげていきます。

さらに、すべての教育活動において人権尊重の理念を基礎に置き、部落差別をはじめとする、あらゆる差別・偏見の解消をめざし、お互いの人権が尊重される明るく穏やかな「森の国まつり」を推進します。

子育て施策の推進では、子ども・子育て支援事業計画に基づき、子どもが心身ともに健やかに成長できる保育・教育の環境づくり支援の拡充を図り、安心して暮らし育てることのできる環境づくりに取り組みます。

- (1) 児童生徒一人ひとりの個性や関心に合った特色と将来性のある教育の推進（英語・俳句）
- (2) ふるさと松野への誇りと愛着を育むカリキュラムの充実強化
- (3) 子育て世帯の負担軽減と多様な保育ニーズに対応する保育園の体制構築
- (4) あらゆる差別偏見を解消するための人権・同和教育の推進
- (5) 中学生や高校生の視点と発想を活かしたまちづくりの推進



5 揺るぎない行財政基盤の“森の国”【行革・協働】

様々な行政課題に的確に対応するためには、地方創生の諸施策を推進し、継続的で安定した行財政運営を行うことが重要であることから、今後も事業の選択と集中並びに効率的で効果的な行財政運営を進め、危機感を持った財政運営によって持続可能な行財政基盤の確立に努めます。

さらに効率的できめ細かな行政サービス提供に努め、町民に親しみやすい役場づくりを目指すほか、行政全般におけるDXの導入促進により行政効率化を進めるとともに、引き続き住民自治活動に対する支援を継続し、協働のまちづくりを進めます。

- (1) 新庁舎における能率的できめ細かな行政サービス体制の構築
- (2) 各部落の住民自治活動の支援（権限・財源の移譲、地元職員の参画）
- (3) 職員の確保と資質向上及び働き方改革
- (4) 選択と集中による行財政改革の推進
- (5) 行政全般におけるDXの導入促進

